

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2017.10.5 No.304 東京・羽村平和委員会発行



オスプレイ 沖縄・新石垣空港にまた緊急着陸 9月29日オイル漏れ



米海兵隊普天間基地所属の MV-22 オスプレイ 2 機が、沖縄・新石垣空港に 9 月 29 日 4 時 57 分と 4 時 59 分に相次いで緊急着陸しました。着陸したオスプレイは ET-03 虎（左写真:横田基地飛来時に撮影）ET-02 虎です。ET-02 は異常はなかったようです。

ET-03 虎は誘導路で動かなくなり牽引車で駐車場に移動しました。10 月 1 日以降も整備が続けられましたが、エンジンオイル漏れのオイルを拭き取っている写真なども報じられました。10 月 4 日、ようやく離陸しました。

普天間配備オスプレイ 2機墜落/24機中 エンジントラブルなど故障相次ぐ

2012 年 10 月 1 日、島ぐるみ反対の中、普天間基地にオスプレイ 12 機が配備され、翌年 8 ～ 9 月に 12 機が追加配備されました。日米政府は「安全」を繰り返しますが、危険は明白です。

2016 年 12 月 13 日、沖縄・名護・安部沖でオスプレイが墜落・大破しました。1 月 28 日にはイエメンで墜落。6 月 6 日には、沖縄・伊江島補助飛行場に緊急着陸。6 月 10 日には鹿児島・奄美空港に緊急着陸。8 月 6 日にはオーストラリア東部沖で普天間基地所属機が墜落、3 人が死亡。8 月 28 日には岩国基地で白煙を上げたオスプレイが 8 月 29 日に大分空港に緊急着陸。9 月 29 日には沖縄・新石垣空港に緊急着陸。同日シリアでは墜落し、2 人が負傷しています。

2016/12/13:竜 06 名護墜落 2017/1/28:墜落イエメン 6/6:虎 11 伊江島緊急着陸 6/10:竜 13 奄美空港緊急着陸



8/6:墜落 3 人死亡豪東部沖



8/28:虎 11 岩国基地白煙



8/29:虎 11 大分空港緊急着陸



9/29:墜落 2 人負傷シリア



横田ハイスクール新校舎開校式9月25日

国道 16 号沿いの米軍横田基地内に、横田ハイスクールが 2 年がかりで建設され、9 月 25 日はテープカットセレモニーが行われました。横田ハイスクールは 4 学年、約 300 人の学生で構成されます。横田ハイスクールのマスコットは、ピューマだそうです。米軍基地内の施設の多くは、日本国民の税金・米軍への「思いやり予算」で建設されていますが、横田ハイスクールは違うようです。

《お知らせ 1》 グローバルホークの横田基地への飛来状況について



【9月27日の情報提供内容について】

・グローバルホークは9月27日に1機が飛来しました。

【情報提供済みの内容】

(5月8日付け)・グローバルホークは5月1日に1機が飛来しました。

・グローバルホークは5月3日に1機、5月4日に1機がそれぞれ飛来しました。

(5月)14日付け) /グローバルホークは5月14日に1機が飛来しました。

※グローバルホークは5月1日から10月31日まで一時配備予定でした。5機配備が完了です。

《お知らせ 2》 米軍横田基地配備のC-130輸送機の交替について(9月28日付)



米軍横田基地に配備されている C-130H 輸送機の C-130J 輸送機への交替について、米側から「2017年10月16日に最後の C-130H 2機が帰投する」旨の情報提供がありました。

本交替については、2018年4月までに完了する予定であり交替が完了した際には改めてお知らせします。米側は、

2017年10月16日に横田基地において、C-130H 輸送機の帰投記念式典の開催を予定しています。

《お知らせ 3》 米陸軍との実動訓練に伴う横田基地の使用について (その 2)

防衛省(北関東防衛局)から、米陸軍との実動訓練(オリエント/シールド)に伴う米陸軍の人員輸送について、復路は以下の通り行われるとの情報を得たのでお知らせします。

・9月29日(金) 陸自車両及び米軍車両にて、米陸軍が厚木基地から横田基地に移動。

その後、航空機が横田基地から離陸予定。

・9月30日(土) 陸自車両及び米軍車両にて、米陸軍が東藤演習場から横田基地へ移動。

その後、航空機が横田基地から離陸予定。

東富士演習場「県道104号線越え訓練」 9日間で実弾864発(内、白燐弾67発)



東富士演習場で、9月24日(日)から10月2日(月)まで9日間、沖縄県道104号線越え米軍実弾射撃訓練が行われました。

今回の東富士演習場での部隊は、大隊規模の兵員約430名、車両約100両、榴弾砲12門。左上写真の左に見えるのが155ミリ榴弾砲です。今回は9日間で実弾864発、このうち白燐弾(左下写真)は67発でした。白燐弾は、着弾した後に、次々と移動して破裂するようで、1回で5回の着弾音が聞こえたりするそうです。東富士演習場での「104訓練」は、1998年2月から実施され、今回15巡目です。



沖縄のキャンプ・ハンセンで実施されていた155ミリ榴弾砲による県道104号線越え実弾射撃訓練は、訓練時には交通規が行われ、危険性が高いことから、沖縄県民は取りやめを長年強く求めています。「沖縄の負担軽減」ということで(実は訓練拡大)、現在、本土5

つの自衛隊演習場(矢白別・王城寺原・北富士・東富士・日出生台)で実施されています。